

大会での活躍を誓う

1月10日(土)、サンアリーナせんだいで、県下一周市郡対抗駅伝競走大会と県地区対抗女子駅伝競走大会に向けて、男女川薩チーム合同の結団式を行いました。

両監督、キャプテンは「Bクラス優勝を目指しチーム一丸となって頑張りたい。お世話になった地域の方々に恩返しができるよう、最後まで走り抜きます」と力強く抱負を語りました。



【情報提供：川薩チーム】

鬼火に込めた勝利への願い

1月10日(土)、倉野地区(樋脇町)で、鬼火焚きを行いました。

今年は、本市で合宿中のホッケー女子日本代表チーム「さくら JAPAN」のメンバーも参加しました。地域と選手団の年男・年女それぞれが火入れを行い、無病息災と選手団の勝利を祈願しました。



【情報提供：倉野地区コミュニティ協議会】

二十歳の想いとつながる支援

1月11日(日)、SSプラザせんだいで、二十歳のつどいを開催しました。630人が参加し、笑顔あふれる式典となりました。

16日(金)には、市社会福祉協議会に、実行委員会の呼び掛けで収集したペットボトルキャップなどを贈呈しました。中村駿実行委員長は「今後もボランティアに対する意識を高めたい」と述べました。



防災意識を高めました

1月10日(土)、川内川河川敷で、本土圏域の市消防出初式を開催しました。

高江こども園幼年消防クラブによる演技、川内高等学校放送部による進行、消防車両による一斉放水など、見応えのある式典に参加者から拍手が起こりました。

また、11日(日)には里中学校と長浜小学校で、甕

島圏域の出初式を開催しました。

荒天のため屋内開催となりましたが、車両パレードや里幼稚園・かのこ幼稚園幼年消防クラブが演技などを行いました。新年の始まりとともに士気を高めました。

